

# 赤十字ニュースinとくしま

日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

Vol.53 2026.7

日本赤十字社徳島県支部

徳島市庄町三丁目12番地1

TEL.088-631-6000 FAX.088-631-6100

https://www.jrc.or.jp/chapter/tokushima/



Instagram



HP

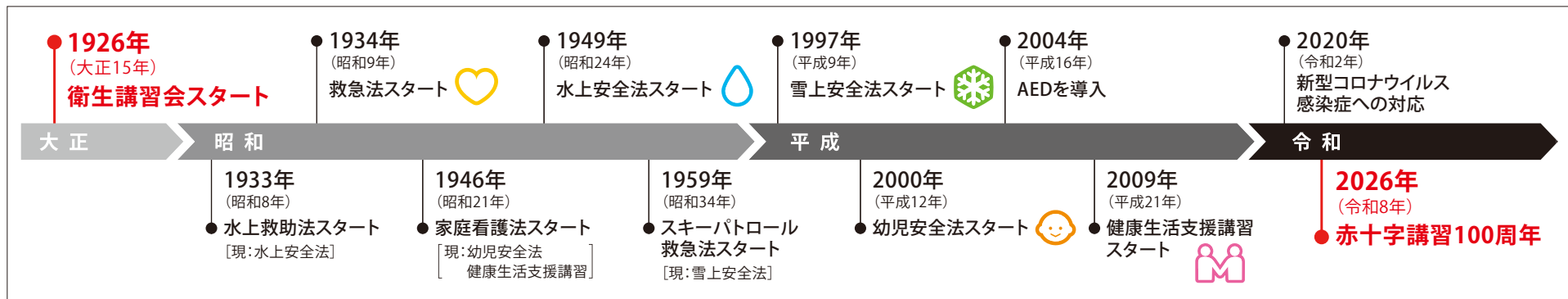


昭和初期、包帯法を学ぶ日本赤十字社衛生講習会の様子(日本赤十字社所蔵)

## 赤十字講習 100周年



いのちを守る勇気  
つないだ100年  
これからも



### 赤十字講習のご紹介



#### ●救急法講習

心肺蘇生やAEDの使い方、けがや急病時の応急手当など、いざというときに役立つ知識と技術を学ぶことができます。



#### ●水上安全法講習

水の事故を防ぐための知識や、万が一の際の救助・応急手当の方法を学ぶことができます。



#### ●幼児安全法講習

乳幼児に起こりやすい事故の予防や、けが・急病時の応急手当の方法を学ぶことができます。



#### ●健康生活支援講習

日常生活の中で健康を維持・増進するための知識や、元気に生活し続けるための健康づくりや暮らしの工夫を学ぶことができます。



### 出前講習申込方法



講習希望日を決めてください。候補日が多いほど調整しやすくなります。



日赤徳島県支部(TEL:088-631-6000)までご連絡ください。



開催日決定



講習申込書をお送りください。



指導員を派遣

### 赤十字講習100周年 記念キャラバンinとくしま

全国47都道府県で、キャラバン形式によるイベントを開催します。ぜひご来場ください。

●日時/令和8年8月23日(日)

11:00~16:00

●会場/ゆめタウン徳島

1階 ウェストコート

●内容

●心肺蘇生とAEDの使い方(おとな・子ども)

●献血バスも来るよ!(11:30~16:30)

●ちびっこ救護員体験

(ミニ救護服姿で記念撮影)

●ハートラちゃんが登場するかも!?

「ごさのとき、誰もが救い、救われる」。

赤十字講習で学ぶ知識と技術は、一人ひとりの行動を支える力となります。この機会に、赤十字講習を受講してみませんか。

現在、119番通報から救急車が現場に到着するまでには約10分かかるといわれています。その間、現場に居合わせた人の行動が命を左右することも少なくありません。

「ごさのとき、誰もが救い、救われる」。

赤十字講習で学ぶ知識と技術は、一人ひとりの行動を支える力となります。この機会に、赤十字講習を受講してみませんか。

大切なのはと健康を守る日本赤十字社の講習事業は、令和8年12月に100周年を迎えます。現在、心肺蘇生やAEDの使い方を学ぶ救急法講習をはじめ、水の事故防止を目的とした水上安全法、子どもの事故予防や応急手当を学ぶ幼児安全法、健康増進を目的とした健康生活支援講習などを全国で展開しています。その歩みは明治時代にさかのぼります。

1887(明治20)年、隅田川で溺れた学生を救えなかつた出来事をきっかけに、海外で作成された救急に関する教本が日本語に翻訳され、これを日本赤十字社が一般市民向け講習として活用したのが、日本における救急法普及への第一歩となりました。

その後、戦時や災害における救護で培った知識と技術を生かし、1926(大正15)年には、現在の赤十字講習の原形となる「衛生講習会」を開始しました。以来、講習内容は社会の変化や救急蘇生ガイドラインの改訂に応じて見直されながら進化を続け、これまでに全国で2000万人を超える方々が受講しています。この講習事業は赤十字の職員をはじめ、専門的な研修を受けた多くのボランティアの赤十字指導員とともに、今日まで受け継がれてきました。

# 東日本大震災から15年、熊本地震から10年 災害の記憶を次世代へつなぐ

2万2千人以上の尊い命が奪われ、日本各地に深い傷跡を残した東日本大震災。震災直後、日本赤十字社は「とにかく北へ」という合言葉のもと、全社を挙げて医療救護班を派遣し、迅速な災害救護活動に取り組みました。徳島県支部からも震災直後から医療救護班を派遣し、被災地での切れ目のない支援を行いました。

あの日から月日が流れ、今年も東日本大震災から15年、また熊本地震から10年という節目を迎えました。この節目を機に、災害への備えや防災について、改めて考えていただくきっかけとなれば幸いです。今回、当時宮城県で炊き出し支援隊（第1班）として活動された赤十字奉仕団員の体験をご紹介します。

東日本大震災 日本赤十字社  
徳島県支部 炊き出し支援隊（第1班）  
徳島市地区赤十字奉仕団 一宮分団

## 中畑 英美子 さん



## 出発前の準備

被災地への炊き出し支援が決まり、出発まで約1週間という短期間の中で準備が進められました。現地でする炊き出しでは徳島の食材を生かした献立が考案されました。

また、限られた環境の中でも温かい食事を届けるため、出発前日に加熱や仕込みなどの準備を行

ました。約10000人分の米を災害用炊飯袋（ハイゼックス）に詰める作業は容易ではありませんでしたが、徳島市地区赤十字奉仕団加茂分団の協力により、無事に準備を整えることができました。



## 被災地での活動

今回の炊き出し支援は、日本赤十字社山形県支部と合同で実施され、山形県支部の赤十字奉仕団員と打ち合わせを行いました。

翌日早朝、山形県から宮城県気仙沼市へ向けて出発。被災地に近づくにつれて、津波の影響による壊滅的な状況が広がり、被害の甚大さを目の当たりにしました。

一方で、当時は5月であったこと



から木々の間にこいのぼりが掲げられている光景も見られ、厳しい状況の中にも、心が和らぐ瞬間があったことが印象に残っています。

小原木中学校に到着後、すぐに昼食の準備に取りかかりました。当初は約2000人分の提供を想定していましたが、集会所や別の場所にも避難されている方がいたため、最終的には約4500人規模の食事を4回提供しました。

昼食後は間を置くことなく夕食の準備に取り掛かりました。あいにくの雨の中での活動となりましたが、奉仕団員同士が協力しながら炊き出し支援に取り組みました。

避難生活の中で温かい食事は大変喜ばれ、「久しぶりに温かい食事を食うことができた」「温かいご飯の匂いに、ほっとした気持ちになった」といった声が聞かれました。

## 炊き出し支援を通して感じたこと

私たちの炊き出し支援の活動は、単に食事を届けるだけでなく、被災された方々に「安心」と「つながり」を届けるものであると感じ、「支援とは寄り添う心」とあるということを学びました。そして、小さな一歩の積み重ねが、大き



日本赤十字社徳島県支部の過去の災害救護活動は、こちらからご覧いただけます。

## 東日本大震災 日本赤十字社 徳島県支部 炊き出し支援隊

- 活動期間／平成23年5月11日（水）～14日（土）
- 活動場所／宮城県気仙沼市小原木中学校
- 派遣者数／・地域赤十字奉仕団 10名  
・赤十字防災ボランティア等 2名  
・日本赤十字社徳島県支部 3名
- 活動内容／日本赤十字社山形県支部と合同で炊き出し活動を実施

## ●徳島県支部 炊き出しメニュー

- 昼食 ●阿波牛の牛丼  
●すまし汁（半田そうめん・しいたけ・ちくわ）  
●酢の物（鳴門わかめ・しらす） ●漬物
- 夕食 ●しらすわかめごはん（しらす・鳴門わかめ）  
●阿波尾鶏の唐揚げ（阿波尾鶏もも肉）  
●鳴門金時大学芋  
●そば米汁（そば米・野菜たっぷり・豆腐・阿波尾鶏もも肉）  
●サラダ ●漬物

## JRC冬期学習会

### 県内の高校生が炊き出し支援を学ぶ

2月11日、徳島県高等学校青少年赤十字（JRC）冬期学習会を開催しました。

当日は県内10校から23名の青少年赤十字高校生メンバーが参加し、震災について改めて学ぶ機会となりました。参加者の多くは、東日本大震災当時まだ幼く、記憶がわずかに残っている程度で、被災地の状況を詳しく知る機会が少ない世代です。震災について「知らない世代だからこそ、次へ伝えていく」ことを目的に実施しました。

東日本大震災発生直時に被災地で活動を行った救護員や、実際に炊き出し支援を行った赤十字奉仕団員の中畑さんから、当時の活動についてお話をお伺いしました。参加した高校生からは、「ライフラインが止まった中での救護活動の大変さを知ることができた」「温かい食事が人々の心の支えになっていたことを実感した」といった声が寄せられました。

また、当時被災地で提供された「阿波牛の牛丼」の中畑さんの指導のもと再現。参加した高校生は、限られた条件の中で調理を行う難しさや、災害時における食の支



●当時の炊き出し支援の経験を高校生に伝える講話の様子



●中畑さんのご指導のもと、協力しながら「阿波牛の牛丼」を再現

援について理解を深めました。今回の学習会は、震災の記憶を次世代へとつなぐとともに、支援の在り方について考える貴重な機会となりました。

## 藍住西幼稚園炊き出し訓練・防災セミナー

### 防災の力を次世代へつなぐ

2月10日、板野郡藍住町の藍住西幼稚園で、炊き出し訓練と防災セミナーを実施しました。「日頃の避難訓練に加え、防災について学ぶ機会を設けたい」との依頼を受け、実施したものです。

当日は、園児や教職員、ボランティアなど約140名が参加し、災害時に自分の身を守るための行動や知識について学びました。

炊き出し訓練では、災害用移動炊飯器や災害用炊飯袋（ハイゼックス）を使用し、アレルギーに配慮した米粉の蒸しパン作りを体験しました。藍住町赤十字奉仕団が中心となり、保護者の協力のもと準備やサポートを行い、園児たちも一緒に調理に取り組みました。

また、日本赤十字社の幼児向け防災教材「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん!」を活用したセミナーでは、園児たちが自らイラストの中の危険な箇所や安全な行動について考えるなど、主体的に取り組む姿が見られました。

そのほか、通信指令車の見学や新聞紙



●米粉の蒸しパン作りを行う園児と奉仕団員



●園児たちが自ら危険な箇所を見つけ、安全な行動について考える様子

を使ったスリッパ作りも行い、楽しみながら防災への理解を深めました。最後には、自分たちで作った蒸しパンを味わい、防災について学ぶひとときとなりました。

# あなたの推しはどのハートラちゃん? 47都道府県 全国ご当地ハートラちゃん誕生!

日本赤十字社公式キャラクター「ハートラちゃん」。

「苦しんでいる人を救いたい」そんな熱くやさしい心を持ち、日本赤十字社のボランティアとして頑張っている、ハートランドの森の精です。

5月11日の「ご当地キャラの日」に、47都道府県それぞれの特色や魅力を取り入れた「全国ご当地ハートラちゃん」が誕生しました。

地域を象徴する衣装を身にまとい、特産物を持つなど、各地の魅力を表現しています。



『阿波踊りハートラちゃん』

徳島県のご当地ハートラちゃんは、全国的にも広く知られる「阿波踊り」と、自然の豊かさを象徴する鳴門の渦潮をモチーフに制作されています。

徳島の夏の風物詩である阿波踊りは、見る人も踊る人も自然と笑顔になり、地域全体が一体となる文化です。その開放感と躍動感に、徳島らしさがぎゅっと詰まっています。

ぜひ、全国のご当地ハートラちゃんをご覧いただき、あなたの“推し”を見つけてみてください。

他の地域のご当地ハートラちゃんも、二次元コードから「全国ご当地ハートラちゃん特設サイト」でぜひチェックしてみてください。



# 夏本番、熱中症に気をつけて!! —今こそ学ぶ予防と対処法—

近年、気候変動の影響により全国的に夏の気温が上昇し、35度以上の猛暑日を記録する日が多くなっています。

総務省消防庁の「令和7年(5月～9月)の熱中症による救急搬送状況」によると、全国における月別の熱中症による救急搬送者数は7月が最も多くなっています。

また、徳島県内における熱中症による救急搬送者数を各週で比較すると、梅雨明け後や最高気温が高くなった日に増加する傾向が見られます。これは、この時期には身体がまだ暑さに慣れておらず、体

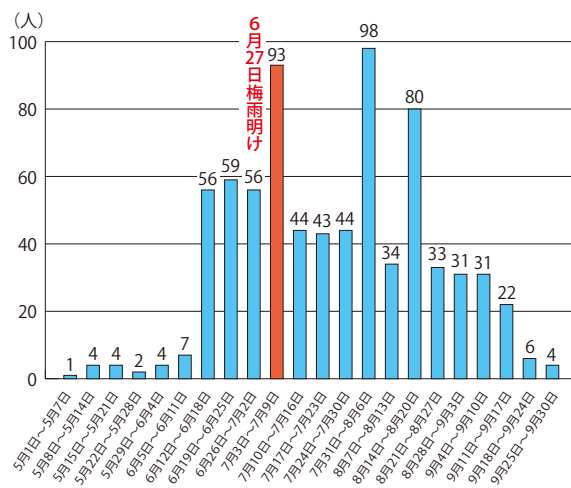
温調節がうまくできないことが要因と考えられます。

これから厳しい暑さが本格化する中、熱中症を予防し、症状が現れた際には適切に対処することが重要です。

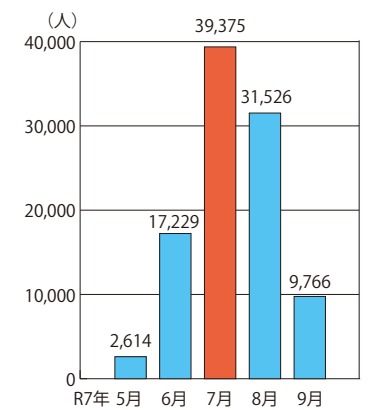
当支部では、株式会社大塚製薬工場様のご協力のもと、熱中症の予防のポイントなどについて分かりやすく学べる講習会を開催しています。

●講習会に関するお問い合わせは、日本赤十字社徳島県支部 事業推進課 (TEL:088-631-6000) までご連絡ください。

徳島県における熱中症による救急搬送者数(令和7年)  
「調査開始から各週の比較」調査期間:令和7年5月1日～9月30日



全国の熱中症による救急搬送者数(令和7年)  
調査期間:令和7年5月1日～9月30日



## 「誰かのために何かしたい」という気づきを行動に ～鳴門教育大学附属中学校・幼稚園 募金活動～

令和7年11月1日、青少年赤十字に加盟している鳴門教育大学附属中学校・幼稚園の生徒・園児および保護者が、徳島市藍場浜公園で開催された「阿波の狸まつり」において、赤十字活動支援費の街頭募金活動を行いました。

この活動は、赤十字の活動を支援したいという思いから実施されたもので、多くの来場者でにぎわう中、手作りの募金箱や看板を手に、元気な声で

募金への協力を呼びかけました。

活動に参加した生徒からは、「たくさんの人と交流することができ、募金してくださった方々と私たち双方にとって、楽しく有意義な時間となりました。」との感想が寄せられました。

子どもたちが主体となって呼びかけを行い、集まった募金は、いのちと健康、尊厳を守る赤十字活動に活用させていただきます。



●「阿波の狸まつり」で来場者に募金の協力を呼びかける生徒・園児

## 赤十字活動支援費にご協力をお願いします

迫り来る南海トラフ巨大地震に備えての災害救護体制の充実や、豊かな心を育む青少年赤十字の育成は、皆様のご支援で行われています。

●下の振込用紙(振込手数料は無料、金額は任意)で、お近くの阿波銀行、徳島大正銀行の本店・全支店からお振込み可能です。郵便局からのお振込みをご希望の方は、当支部事務局(TEL:088-631-6000)までご連絡ください。

## キャッシュレス寄付!

振込以外でも、支援いただけます!



### 赤十字活動支援費領収証

金額	※	百万	千	円
取りまとめ店	阿波銀行 鮎喰支店 徳島大正銀行 加茂名支店			
受取人	日本赤十字社徳島県支部			
住所・氏名	ご依頼人 様			
取扱店	年 月 日 銀行 支店			
(法人) この領収証記載の金額は法人税法第37条第4項の規定に基づく寄付金に該当します。				
(個人) この領収証記載の金額は所得税法第78条第2項第3号の規定に基づく特定寄付金に該当します。				

● (振込人)

### 振込ご案内

金額	※	百万	千	円
取りまとめ店	阿波銀行 鮎喰支店 徳島大正銀行 加茂名支店			
受取人	日本赤十字社徳島県支部			
住所・氏名・連絡先	〒 - (ふりがな) 様 (TEL: - -)			
赤十字寄付金用 上記のとおり払込を取扱いましたからご通知いたします。				
年 月 日 銀行 支店				
コード番号				

● (取りまとめ店→受取人)

### 普通預金入金票 赤十字寄付金

取及び口座番号	阿波銀行 鮎喰支店 (普) 0233304	年 月 日	円	検印
金額	※	百万	千	円
受取人	徳島市庄町3丁目12-1 にほんせきじゅうじしゃとくしまけんしふ 日本赤十字社徳島県支部			
住所・氏名・連絡先	〒 - (ふりがな) 様 (TEL: - -)			
内訳	現金			
	当店券			
出納印				
記帳				
抜者				

● (取扱店→取りまとめ店)

一 この領収証は大切に保存して下さい。  
二 本票をもって日本赤十字社徳島県支部の領収証とさせていただきます。  
三 右記取りまとめ店の本支店ご利用の場合は手数料免除となります。



# 人間を救うのは、人間だ。

日本赤十字社 スローガン



## けんけつクイズにチャレンジ!

献血には、献血する人の健康を守るための決まり(基準)があります。子どもはまだ献血できませんが、大きくなったら挑戦してもらえると嬉しいです。

**Q1** どの患者さんに血液が使われることが多い?

- A. がんの治療
- B. 交通事故で大けが

**Q2** 今、献血で困っていることは?

- A. 若い人の献血が少ない
- B. 献血する人が多すぎる

## 夏休み特別企画 けんけつキッズ★クイズチャレンジ!!

この夏、親子で一緒に「献血」について考えてみませんか。

昨年大好評いただいた「けんけつキッズ★クイズチャレンジ!!」を、今年も開催します!クイズに挑戦してくれたお子さまには、ガチャガチャを1回お楽しみいただけます。内容は自由研究のテーマとしても活用できますので、夏休みの宿題にもぜひご利用ください。

献血に協力してほしいっ!



- 開催期間/7月11日(土)~8月31日(月) ※第1・第3火曜日は定休日です。
- 時間/9:30~13:00、14:00~17:00
- 会場/献血ルームアミコ
- 対象/中学生以下のお子さま

なお、お子さまの参加は予約不要です。保護者の方が献血にご協力いただける場合は、事前予約をお願いします。

詳しくは、献血ルームアミコ(TEL:0120-688-950)までお問い合わせください。

## いま、知ってほしい献血のこと

若い人で献血をする人は、年々少なくなっています。徳島県では、人口が減るよりも早いスピードで、献血をする人が減っています。このままだと、将来、血液が足りなくなってしまう、治療が必要な人が

十分な治療を受けられなくなるかもしれません。みなさんが「困っている人を助けたい」という気持ちをつないでいくために、まずは献血について知ることから始めてみませんか。

けんけつクイズ Q1:こたえA Q2:こたえA

## 献血のご協力はコチラ

### 献血ルーム アミコ

●受付時間: 9:30~13:00  
14:00~17:00  
(成分献血は16:00まで)

※アミコ専門店街の開店前及び休館時は3Fシビックセンター広場入口か1F郵便局横入口をご利用ください。

●定休日:毎月第1・3火曜日

※悪天候時及び年末年始には臨時休業させていただきます。お問い合わせください。

●住所:徳島市元町1-24  
アミコビル3F(JR徳島駅前)

●電話番号:0120-688-950

●右の①~④の駐車場をご利用ください。  
※献血に要した時間分のサービス券をご用意しております。



献血中もTV視聴



Free-WiFi あります



充実のフリードリンク

### 献血バス

●徳島県内を巡回中の献血バスで、ご協力いただけます。

(400mL献血のみ)

●電話番号:0120-688-994

●献血バスの日程は徳島県赤十字血液センターホームページでご案内しています。



## Instagramで情報発信中

献血の基準や献血スケジュール、キャンペーン情報はInstagramでも確認できます。

## ●日本赤十字社徳島県支部管内の赤十字施設をご案内します●

日本赤十字社徳島県支部事務局  
徳島赤十字病院  
徳島県赤十字血液センター

徳島市庄町三丁目12-1  
小松島市小松島町字井利ノ口103番  
徳島市庄町三丁目12-1

TEL.088-631-6000  
TEL.0885-32-2555  
TEL.088-631-3200

徳島赤十字ひのみね医療療育センター  
徳島赤十字ひのみね医療療育センター附属支援施設  
徳島赤十字ひのみね医療療育センター附属乳児院

小松島市中田町字新開4-1 TEL.0885-32-0903  
小松島市中田町字新開4-1 TEL.0885-32-0903  
小松島市中田町字新開2-2 TEL.0885-32-0555